

問題10 次の(1)から(5)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、  
1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

就活塾「就活コーチ」は、表参道近くのワンルームマンションにある。慶応など有名大学の男女計6人が、グループディスカッションの講座に集まっていた。テーマは「ビールメーカーの新商品開発」。営業、生産、物流<sup>ぶつりゅう</sup>の立場になって議論する。ある学生は「ビール全体の売り上げ減少が問題では」と、問題の前提を確認するよう促した。だが、1時間半後の「OB訪問と傾聴力」の回では、疲労からか、ほとんど発言できなかった。  
(注) 議論の後、学生は手元に配られた1～6のトランプのカードを互いに手渡し合った。最も影響力があった人に「1」、なかった人に「6」。「傾聴力」の回で、その学生の評価は自己評価も含めて最低の「36」。悔しさも、本番への不安のみ込んで、「自分のせい」と受け入れた。

(「大人に反抗したらダメ」就活、息苦しさで矛盾抱えて」朝日新聞による。一部変更あり)

(注) OB訪問：主に大学生が就職活動を行うときに、情報収集の一環<sup>いっかん</sup>として働く社会人を訪問し、企業の情報や働き方などについて話を聞くこと

53 ワンルームマンションで学生達が行ったことは何か。

- 1 一つのテーマについて話し合い、最後に企業が面接を行った。
- 2 グループで話し合い、参加者同士で評価し合った。
- 3 チームに分かれ、トランプをしながらチームワークを深めた。
- 4 グループで討論し、最後にOB達が点数で評価した。

(2)

さしだしにん 総務部 やのあきこ  
 差出人 矢野明子  
 あてさき やまだ たろう  
 宛先 山田太郎

件名 ハローウィンパーティーのお知らせ

送信日時 今日 13:03:34

社員各位

秋も深まってまいりました。

さて、今年も恒例<sup>こうれい</sup>のハローウィンパーティーを下記の通り行います。ご家族参加型の賑やかなパーティーですので、お子様連れで是非ご参加ください。

つきましては、10月25日までに出席と参加人数(大人○名、子供○名)を総務部<sup>やの</sup>矢野までメールでお寄せください。

よろしくお願い致します。

なお、小学生以下のお子様にはハローウィン用のお菓子のプレゼントを用意しています。

- ・ 日時 20◇◇年10月31日(日)午後3時～午後6時
- ・ 場所 スターホテル3階 多目的ルーム
- ・ 会費 3500円(小学生以下無料)

総務部総務課 やのあきこ  
 矢野明子

email: yano@efgh.ijk.co.jp

tel: 01-2345-6789 内線: 1234

54 小学生の子供と一緒にパーティーに出席するつもりである。最も適切なのはどれか。

- 1 返信する必要はなく、当日子供と二人で参加する。お菓子のプレゼントはもらえない。
- 2 当日までに子供と二人で参加すると返信する。お菓子のプレゼントがもらえる。
- 3 10月25日までに子供と二人で参加すると返信する。当日お菓子のプレゼントがもらえる。
- 4 10月25日までに子供と二人で参加すると返信する。当日お菓子のプレゼントはもらえない。

(3)

また、妊婦<sup>にんぶ</sup>の方は、カフェインを摂り過ぎることで流産<sup>りゅうざん</sup>や早産<sup>そうざん</sup>、低出生体重児<sup>ていしゅっせいたいじゅうじ</sup>、発達<sup>はったつ</sup>障害<sup>しょうがい</sup>のリスクが高まるとされています。摂取量<sup>せつしゅりょう</sup>が1日200mgを超えないよう、1～2杯<sup>と</sup>に留めておくか、ノンカフェインのコーヒーを飲むようにしましょう。そして忘れてはいけ<sup>にんしん</sup>ないのが、妊娠中<sup>にんしん</sup>の方以外でも、たとえ目安の3～4杯に摂取量を抑えていても健康<sup>がい</sup>を害する場合があるということ。コーヒーの健康効果の報告は、いずれもブラックコーヒーを調査対象としています。毎回砂糖をたっぷり入れていたりすれば、当然健康効果どころの話ではなく、糖尿病<sup>とうようびょう</sup>やメタボ<sup>(注2)</sup>を引き起こす原因になりかねません。

(「コーヒーは結局一日何杯なら健康的なのか」東洋経済オンラインによる)

(注1) 低出生体重児<sup>ていしゅっせいたいじゅうじ</sup>: 生まれたときの体重が2500g未満の新生児のこと

(注2) メタボ(メタボリックシンドローム): 内蔵<sup>ないぞう</sup>の周囲に脂肪<sup>しぼう</sup>がたまり、それに加えて高血糖<sup>こうけつとう</sup>、高血圧<sup>こうけつあつ</sup>、高脂血<sup>こうしけつ</sup>、高コレステロールの症状<sup>こう</sup>のいくつかを複数<sup>あわ</sup>併せ持つ状態<sup>も</sup>

55 文章の内容として最も適切なものはどれか。

- 1 妊婦<sup>にんぶ</sup>でなければコーヒーに健康被害はないのでいくら飲んでもいい。
- 2 適量<sup>てきりょう</sup>を守っていても飲み方によって人体に悪影響がある。
- 3 妊婦<sup>にんぶ</sup>はブラックコーヒーを一口も口にしてはならない。
- 4 少量でもカフェインが入っていればどんな飲み物でも健康効果がある。

(4)

本書は法律の分野をわかりやすく解説した参考書である。本書を効果的に使用し学習する方法は、繰り返し読むということである。しかし、ただ読むというだけでは効果はない。例えば、法律の学習は丸い構造になっている。テキストの最初に書いてある内容も、後で出てくる知識がないと完全には理解できないような構造になっているのだ。初めはあらすじさえ<sup>わ</sup>分かればいいと気軽に読み進め、全体を一読するといい。それから、繰り返し読み直し、<sup>ちやくじつ</sup>着実に理解していくという方法が最も効果的な本書の勉強法である。

**56** 文章の内容として最も適切なものはどれか。

- 1 <sup>わ</sup>分からないことがあっても気にせず読み進める。
- 2 1 ページ、1 ページにこだわって時間をかけて読む。
- 3 最初から100%理解しようとし、内容を<sup>まるあん き</sup>丸暗記する。
- 4 最後のページから読み進め、繰り返し読み直す。



(5)

マイナンバー制度とは、個人番号を利用し、行政機関等相互間で安全かつ効率的に  
(注1)  
 情報連携れんけいを行うための仕組みを整備しようとする制度のことで、この制度は住民票を  
(注2) じゅうみんひょう  
(注3)  
 有するすべての人に一つの番号を付して、効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する  
(注4) ゆう ふ (注5)  
 個人情報が同一人物の情報であることを確認するためのものです。

そして、マイナンバー制度を利用するための法律（行政手続きにおける特定の個人  
しきべつ つうしゅう  
 を識別するための番号の利用等に関する法律、通称マイナンバー法）が2015年9月  
しこう  
 30日に施行されました。

（行政書士試験研究会『2020年版合格革命行政書士基本テキスト』早稲田経営出版による）

（注1）行政機関：国の行政義務を行う国家機関

（注2）連携：互いに連絡をとり協力して物事を行うこと

（注3）住民票：市区町村の住民について個人単位とし、氏名、生年月日、性別、世帯主との続柄、住所、  
 本籍などの事項を記載する公簿

（注4）有する：持っている。所有する

（注5）付す：与える、交付する

57 この文章の内容として最も適切なものはどれか。

- 1 マイナンバー制度により、国民の生活の利便性が向上した。
- 2 マイナンバーは国が効率的に個人情報を管理するためのシステムである。
- 3 マイナンバーは一時的なものであり、一生使用するものではない。
- 4 マイナンバー制度は2015年9月29日から運用開始された。

問題 11 次の(1)から(3)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、  
1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

本を読んでいると、「どうしてこんなことが書いてあるのだろう？」と疑問に思う部分が多々ある。どんなに好きな作家でも、所詮は赤の他人が書いているのだから、当然である。読みながら、納得できないと感じたり、こう書いた方がいいんじゃないかと自分なりに考えてみたりすることもあるだろう。

大切なのは立ち止まって「どうして？」と考えることだ。本というのは、そういった疑問を持った瞬間にそういう疑問を持った人だけ、こっそりとその秘密を語り始めるものなのだ。疑問を持ったら、<sup>すどお</sup>素通りせず<sup>きょしん</sup>虚心にその<sup>ひとすじ</sup>一筋に<sup>(注2)</sup>耳を傾けてみよう。たとえば、そのときは理解できなくてもそうして気にかけることで、その一節は読後も記憶に残り続け、何年か経<sup>た</sup>ってから、「ああ、ずっと不思議だったけど、あれはそういうことだったのか！」と理解できるときが訪れるものである。そのとき初めて、長い時間をかけて作者の最も深い場所から発せられた声は読者に届くのである。

長い歴史の中で多くの人が得てきた豊かな内容を、ほんの少しでも自分も得たいと考えるならば、まずはゆっくりと時間をとって「なぜ、わざわざ、作者はこんな書き方をしているのだろう？」と考えるところから始めなければならない。それは今日、明日役に立つことは教えてくれないかもしれないが、自分自身の価値観を大きく揺<sup>ゆ</sup>さぶるような経験をもたらししてくれるかもしれないのである。

(平野啓一郎『本の読み方 スロー・リーディングの実践』PHP研究所による)

(注1) <sup>すどお</sup>素通り：立ち寄らずに通るすぎる事

(注2) <sup>ひとすじ</sup>一筋に：一つのことに心を集中させ続ける

**58** 当然であるとあるが、筆者はどのようなことについて述べているのか。

- 1 本が全くの赤の他人によって書かれていること
- 2 本に書かれている内容に疑問を抱くこと
- 3 どんなに好きな作家でも、結局は他人であること
- 4 疑問を持った本の一節に耳を傾けること

**59** そのときとはいつか。

- 1 多くの人が得てきた豊かな内容を知りたいと思ったとき
- 2 本の中にある筆者の考えに対して疑問を感じたとき
- 3 本を読みながら内容に納得ができなかったとき
- 4 本の内容に対して長年感じていた疑問が理解できたとき

**60** 文章の内容として最も適切なものはどれか。

- 1 本の中で疑問に思ったことはすぐに辞書で調べて見るといい。
- 2 本を読む上で大切なことは作者の考えに対して共感することだ。
- 3 作者の意図を読み取るためにはじっくりと本と向き合うことだ。
- 4 本を読むときは読むスピードを速めて声に出しながら読むといい。



(2)

博士の研究によると、人間であくびがうつり始めるのは5歳くらいからで、それより幼い乳幼児<sup>(注1)</sup>ではあくびはうつらないことが分かったといいます。なぜ赤ん坊はあくびがうつらないかといえば、自分中心に生きているから。すべてまわりが世話<sup>(注2)</sup>を焼いてくれるので、別に共感する必要がないのでしょう。それが5歳くらいになると世界は自分中心に回っているわけではないとだんだん思い知るようになります。幼稚園にでも入れれば新たな人間関係がうまれるからなおさらです。そうやって共感力が<sup>(注3)</sup>培われ、あくびもうつるようになるというわけ。以前と比べると人があくびをしているのを見てもうつらなくなったという人は、考えが自己中心的になっていないか、ちょっと自己を<sup>(注4)</sup>省みる必要があるかもしれません。(中略) ちなみに、あくびをしたときに脳波<sup>(注5)</sup>を測定してみると、β波に代表される覚醒時の脳波が測定されます。つまりあくびをすることで一時的にせよ、眠気<sup>(注6)</sup>が消えるということ。退屈な授業や打ち合わせであくびが出るのは眠気を覚まそう、起きようとする心理の現れでもあるのです。ということは上司は部下のあくびをとがめるより、「遠慮せずどんどんあくびを<sup>(注6)</sup>しなさい」と奨励すべきなのかもしれません。

また、ストレスなどで過度<sup>(注6)</sup>に緊張したときにもあくびは出やすいもの。こちらは、緊張をゆるめることで覚醒<sup>(注6)</sup>を促す行動と考えられています。別の研究ではあくびには注意力を上げたり、脳を覚ます効果もあることが<sup>(注6)</sup>判明しています。いいことづくめというわけです。

(清田予紀『時間を忘れるほど面白い人間心理のふしぎがわかる本』三笠書房による)

(注1) 乳幼児：乳児と幼児。小学校入学前の子供の総称

(注2) 世話を焼く：進んで他人の面倒をみる

(注3) 培う：体力や精神力など、その人の糧<sup>(注6)</sup>となるものを養い育てる

(注4) 省みる：反省する

(注5) β波：脳活動の周波数帯

(注6) 奨励：ある事柄を良いこととしてそれをするように人に強く勧めること



61 博士の研究結果はどのようなものか。

- 1 複雑な人間関係になるほど自己中心的な考え方になりやすい。
- 2 あくびがよく出る人は他人の<sup>ひていてき</sup>否定的な考え方が移っている。
- 3 5歳以下の子供は周りに影響を受けやすいためあくびをよくする。
- 4 共感力が高い人ほど他の人からあくびをうつされやすい。

62 あくびが出るのはどんな時か。

- 1 自己中心的な考え方をしているとき
- 2 寝る前のリラックスしているとき
- 3 眠気を覚まそうとしているとき
- 4 まわりが自分の世話を焼いてくれているとき

63 この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

- 1 あくびにはメリットがあるため我<sup>がまん</sup>慢せずにするべきである。
- 2 あくびをよくする人は睡眠を十分にとらなければならない。
- 3 <sup>ひとまえ</sup>人前であくびをすることは失礼であるため遠慮するべきである。
- 4 あくびがよく出る人は自分の自己中心的考え方を見直さなければならない。

(3)

この言い回しを聞くと「お、頭良<sup>よ</sup>さげだ<sup>(注1)</sup>」とを感じるもの。ところが、その後の話を聞いてみると、的確<sup>てきかく</sup>な時もあれば、そうでないときもあったり…。そうなのです。この言い回しは、使う人の力量<sup>りきりょう</sup>がはっきり表れるのです。力量が一番強く感じられるのは、まとめ上手の進行役が使うケースでしょう。みんなの言っている話を的確に要約し、話を前へと進めます。冒頭<sup>ぼうとう</sup>の例でいえば、複数の出演者が「円高<sup>えんこう</sup>を傍観<sup>(注2)</sup>し続けているからいけないんだ」とダラダラとぼやいたら「つまり、皆さんがおっしゃりたいことは政府<sup>せいふ</sup>が介入<sup>かいにゅう</sup>するべきということですよね」と言って話を進めるのです。

また、気を利<sup>き</sup>かせた人<sup>(注5)</sup>が一旦話を区切るために使うケースも力量の高さを感じることができます。

ある発言者の話があまりにずれまくり、みんながうんざりしているような場合、「その話、つまんないからやめようよ」と言ったら、あまりに露骨<sup>ろこつ</sup>で喧嘩<sup>けんか</sup>になってしまう。そこでこの言い回しを使って結論を導いてあげれば、言われた方はそれ以上話を続けることができません。いわば、やんわりと話を止めるテクニックだと言えます。<sup>(注7)</sup>

厄介<sup>えきかい</sup>なのは、「つまり、あなたのおっしゃりたいことは…」と言いながら、相手の真意<sup>しんい</sup>を汲<sup>く</sup>み取<sup>と</sup>らず、自分に都合のいい解釈を強引<sup>きやういん</sup>にしてしまう人。そんな人に限って、「私は<sup>(注8)</sup>こう考えるんですが…」と話を続けてしまいます。

(町沢静夫『口ぐせ、しぐさで人の心を見抜く本』ナガオカ文庫による)

(注1) 良<sup>よ</sup>さげ: よさそうな感じがすること

(注2) 傍観<sup>ぼうかん</sup>: その物事に関係のない立場でただ見ていること

(注3) ダラダラ: しまりなくくどく続く様子

(注4) ぼやく: ぶつぶつ不平や泣き言を言う

(注5) 気を利<sup>き</sup>かせる: 相手の立場やその時の状況にふさわしいように心を働かせる

(注6) ずれまくり: 意見や物事が互いにずっと一致しない様子

(注7) やんわり: やわらかであるさま

(注8) 汲<sup>く</sup>み取<sup>と</sup>る: 相手の心情や事情を推<sup>お</sup>し量<sup>はか</sup>る

64 この言い回しとは何か。

- 1 「お、頭良さげだ」
- 2 「つまり、皆さんがおっしゃりたいことは」
- 3 「その話、つまんないからやめようよ」
- 4 「私はこう考えるんですが…」

65 この言い回しはどんな時に使われるか。

- 1 周りの人に自分を知的<sup>ちてき</sup>に見せたい時
- 2 その場の雰囲気<sup>はあく</sup>が把握できない人を叱りたい時
- 3 みんなの言うことをまとめて先に進めたい時
- 4 自分が考えた意見を強く主張したい時

66 文章の内容として最も適切なものはどれか。

- 1 この言い回しはいつも正論<sup>せいろん</sup>を話す人が使用している。
- 2 この言い回しをする人は周りの人に気を使えない人だ。
- 3 この言い回しをする人は完璧に場の雰囲気を把握している。
- 4 この言い回しは話す人の力量によって効果が異なる。



問題12 次のAとBの文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、  
1・2・3・4から一つ選びなさい。

## A

このようなミュージカルは本当に久しぶりです。しかも、無料で小さい子供と一緒に  
行ってもいいミュージカルは私たちのような子供をもつ親にはとてもありがたいこ  
とです。子供がまだ小さいのでミュージカルに行くことを今まであきらめていました  
が、今回のような時間を持つことができ、子供も喜んでいました。是非ともこのよう  
な機会をこれからも増やしていただければと思います。

しかし、残念なこともありました。公演中、大きな音に驚いた子供が泣き出してし  
まいました。幸い、すぐに泣き止んだのですが、前に座っていた方に文句を言われて  
しまいました。まだ小さな子供ですから、泣くのは仕方のないことだと子育て経験の  
ある方でしたらわかると思います。もし、子供が嫌いというのなら子供連れ禁止の有  
料のミュージカルに行かればいいのかではと思ってしまいます。社会全体がもっと大  
きな心で子連れに対する理解を深めるべきだと思います。

## B

私のような会社を定年退職し、自由な時間の多い年寄にとってこのミュージカルは  
大変うれしい。しかしながら、せっかくのミュージカルを妨害する<sup>ぼうがい</sup>ような行為<sup>こうい</sup>は止め  
ていただきたい。ミュージカル自体はプロの公演でお金を払ってもいいくらいとても  
良かったのだが、客席にいる子供の声で聞こえなかったり、集中できなかった。本当  
にもったいないし、マナー違反だといえる。他の客にも迷惑だし、何よりミュージカ  
ルをしている俳優たちにも失礼だ。だから、公演のやり方をもっと考え直さねばなら  
ないだろう。例えば、子供とその親のみを招待するミュージカルだとか、子供が騒ぎ  
だしたら外にすぐ出られるように通路側の席は子連れ専用にしたたりだ。何か対策を考  
えて、<sup>えんじや</sup>演者も観客もミュージカルを心から楽しめる環境を作っていただきたい。

67 このミュージカルはどのようなミュージカルだったか。

- 1 小さい子供に歌と演劇を体験させるミュージカル
- 2 小さい子供に鑑賞<sup>かんしょう</sup>マナーを教えるミュージカル
- 3 小さい子供を連れて入場できるミュージカル
- 4 小さい子供とその親しか見ることができないミュージカル

68 ミュージカルに対するAとBの意見について正しいものはどれか。

- 1 AもBもミュージカルを今の方法で続けてほしいと言っている。
- 2 AもBもミュージカルの方法を変えればもっと良くなると言っている。
- 3 Aは今の方法で続けてほしいと言い、Bは方法を変えてほしいと言っている。
- 4 Bは今の方法で続けてほしいと言い、Aは方法を変えてほしいと言っている。

問題13 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

私たちの日常は朝から“どんジャンケン”という子供の遊びをしているようなものだと思います。

この遊びは二チームに分かれて、一つの線上を両端から一名が走り出して、途中でぶつかったらジャンケンをします。負けた人は相手に進路を譲ります。負けたチームは自分たちのスタートラインに相手が達しないように、次の走者が線上を走り出し、再び相手とぶつかってジャンケンします。双方がぶつかった時の掛け声「どーんジャンケンポン」が、このゲームの名前、線は曲線の方が面白く、平均台をいくつも使って、落ちた時にもジャンケンで負けたのと同じルールを適用するとさらに面白さが増します。足の遅い私でも、充分に楽しめる遊びでした。

誰かと暮らしていれば、朝食のメニューで“どんジャンケン”です。ご飯がいい人、パンがいい人。この争いを避けるために別のメニューにする人もいるでしょう。

テレビのチャンネル争いも“どんジャンケン”。これも一人一台のテレビで余計な衝突を避ける人がいるかもしれませんね。人が二人以上いればそれぞれにご都合がありますから、いつだって“どんジャンケン”です。

(中略)

行列に割り込む人も自分のご都合を優先させている人。逆に割り込みをしようとする車に対して、車間を詰めて割り込みさせない人も自分の都合を優先している人。“どんジャンケン”にたとえば、負けたくないと思っている人です。

しかし、人生は勝ち負けのあるゲームではありません。どんと当たる前に相手の道を譲るくらいの大きな心は持っていたいものです。自分の都合と相手の都合がぶつかっていることに気付かずに、自分の都合を押し通そうとすれば、待っているのは勝った、負けたです。

勝てば得意げになり、負ければ悔しさが残ります。しかし、自分から先に道を譲って相手のご都合をかなえれば、こちらの気持ちはずっと楽です。



最近「お先にどうぞ」って言いましたか。言われたことありますか。

言う人が多くなれば、「お先にどうぞ」と譲られる人も多くなります。

まずはあなたから「お先にどうぞ」と言ってみませんか。

(名取芳彦『気にしない練習』三笠書房による)

(注1) 両端<sup>りょうたん</sup>: 両方のはし

(注2) どんと: 威勢<sup>いせい</sup>のよいさま。力強いさま

(注3) 押し通す<sup>おとおす</sup>: その主張や状態などを無理をしても変えずに貫く

**69** 私たちの日常は朝から“どんジャンケン”という子供の遊びをしているようなものだとあるが、それはどうしてか。

- 1 相手と意見が違えば譲り合うから
- 2 毎回ジャンケンをして選択しているから
- 3 様々な意見がぶつかり合うから
- 4 力の強い人がわがままに行動するから

**70** “どんジャンケン”とは何か。

- 1 じゃんけんをして勝った人が負けた人を追いかけてまわすゲーム
- 2 両端からスタートして相手の人と合流したところでじゃんけんをするゲーム
- 3 平均台の上でぶつかり合ってバランスを崩して落ちた人が負けるゲーム
- 4 階段でじゃんけんをして負けた人はその場所にとどまって、勝った人だけ前に進めるゲーム

**71** 文章の内容として最も適切なものはどれか。

- 1 生き方に優劣<sup>ゆうれつ</sup>や上下など存在しない。
- 2 人生は誰かと競い合う場所である。
- 3 現代社会は常に競争社会である。
- 4 勝者にのみ幸せはやってくる。